

伏小だより

令和2年度 3月号
富田林市立伏山台小学校
TEL (0721)28-4106

1秒でできること

校長 浅井 美佐

「はじめまして」
この一秒ほどの短い言葉に、一生のトキメキを感じることもある。

「ありがとう」
この一秒ほどの言葉に、人の優しさを知ることがある。

「がんばって」
この一秒ほどの言葉で、勇気がよみがえってくることもある。

「おめでとう」
この一秒ほどの言葉で、幸せにあふれることもある。

「ごめんなさい」
この一秒ほどの言葉に、人の弱さを見ることがある。

「さようなら」
この一秒ほどの言葉が、一生の別れになることもある。

一秒に喜び、一秒に泣く。 一生懸命 一秒。



この詩は、小泉吉宏さんの「一秒の言葉」という詩です。

たった一秒の言葉が、時に人の心や人生を幸せに彩ったり、その人の人生を大きく良い方へ導くきっかけになる場合があります。

逆に、何気なく放った一秒の言葉が、自分の気づかないところで身近な人の心を傷つけたり、だれかの人生を良くない方へ導くきっかけになる場合があります。

なぜなら、言葉には大きな力があるからです。

今年は、新型コロナウイルス感染症予防のため、マスク着用、ソーシャルディスタンスを保つなど、普段と違った日常を過ごしています。しかし、こんな時だからこそ、人と人が触れ合うことは難しくても、心と心のふれあいを大切にしていきたいと思っています。

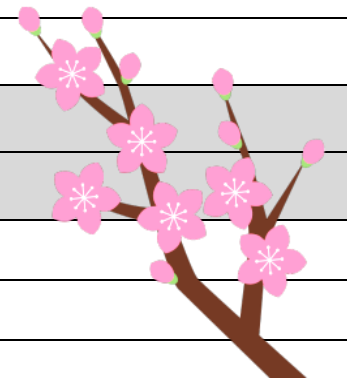
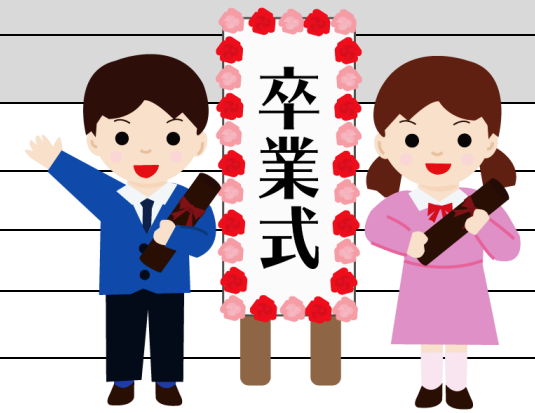
あとわずかになった3学期。子どもたちには、この1年を振り返って、日ごろ何気なく使っている言葉について考えてほしいと思います。

そして、この一年間共に過ごした仲間、いつも一緒にいる家族へ心温まる、やさしさにあふれた、元気づけられる言葉を心がけていけたら素敵ですね。

「一秒の言葉」がもつ不思議な力を学校中で感じたいものです。

3月行事予定

1	月	
2	火	児童集会(リモート) お別れ集会
3	水	委員会(今年度最終)
4	木	
5	金	
6	土	PTA代表者会
7	日	
8	月	
9	火	
10	水	6年 奉仕作業
11	木	卒業式予行(2・3時間目)
12	金	6年お別れ遠足(錦織公園 お弁当なし)
13	土	
14	日	
15	月	6年お別れ遠足予備日
16	火	卒業式準備 1・2・3・6年 13:30下校 4・5年 14:50下校
17	水	第44回卒業式
18	木	地区別集団下校 14:50~ 地区ごとに下校します。
19	金	
20	土	春分の日 学校協議会
21	日	
22	月	
23	火	給食最終日 大掃除 全学年15:20下校
24	水	修了式 全学年 10:40下校



※「第44回卒業証書授与式」(3月17日)

今年度は、48名の6年生が巣立っていきます。5年生は在校生代表として、「お別れの言葉」の時のみ参加しますが、1~4年生はお休みになります。

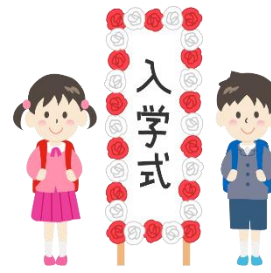
(5年生の下校時刻は11:30ごろ、6年生の下校は12:00ごろを予定)

※購買部販売について

現在のところ、購買部販売(体操服、通学帽など)については、学校で随時注文を承っています。次年度の販売方法については未定です。わかり次第お伝えさせていただきます。

令和3年度の予定（現時点で決定しているもの）

4月 6日（火）入学式 8日（木）始業式
18日（日）日曜参観・・・午前中に終わる予定です。
※詳しい時間等は後日お知らせします。



19日（月）代休

6月 3日（木）～4日（金）5年生自然教室（青少年海洋センターにて）

10月30日（土）運動会

※今年度は6月の運動会を延期して10月末に開催しましたが、来年度（令和3年度）から、運動会は毎年10月に開催いたします。

避難訓練【不審者対応】（2月8日）

今年度は、1年生の教室に不審者が入ってきたという想定で、不審者対応の避難訓練を行いました。不審者の役には、本校職員が扮しました。訓練の放送により駆けつけた教師は、刺股（さすまた）を使う体験も行いました。

およそ20年前に池田市の小学校で起きた事件のようなことが2度と起こらないよう、これからも訓練を行っていきます。また、富田林市の取組としても、毎年6月初めに市内の全小中学校が協力し、不審者対応の訓練を行っています。



お別れ集会（3月2日）

昨年度は臨時休校期間中で、6年生とのお別れができませんでした。今年度は、全学年が一堂に会することはできないものの、体育館にいる6年生に、1～5年生が入れ替わりながらお別れする形での「お別れ集会」を行う予定です。

それぞれの学年が、6年生にお別れのメッセージなどを伝える様子や6年生が在校生に向けた言葉などは、Zoomで各教室に配信します。

今年度は活躍する場が限られていたものの、在校生のために頑張ってきた6年生にとって、いい思い出の一つになればと思っています。

